

教科等研究会（小学校体育部会）

令和2年度 研究活動のまとめ

1 研究テーマ

『児童一人ひとりがかかわり合い、運動の楽しさや喜びを味わう体育学習』

2 研究経過

第1回			第2回			第3回			第4回		
期日	人数	場所	期日	場所	授業者	期日	場所	授業者	期日	場所	授業者
7月6日	38人	御船小	11月13日	小坂小	藤瀬拓海	1月22日	甲佐小	安永智一			

※第3回は、コロナウイルス感染・拡大防止のため中止

3 研究の概要

(1) 研究の内容

① 研究テーマ設定の理由

本年度より新学習指導要領が完全実施となった。その中で小学校の体育は、体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を見付け、その解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成することを目指している。

この目標を達成するために、知識や技能を身に付けることを中心とした学習だけでなく、仲間とかかわり合いながら、児童一人ひとりが運動の楽しさに触れ、生き生きと学習に取り組む体育学習を目指して本研究テーマを設定した。また、児童の実態を把握し、運動が苦手な児童の不安に寄り添いながら、すべての児童が楽しく参加できる手立てやかかわり合いを活発にするための手立てを中心に研究を進めることにした。

② 研究の実際

ア 研究授業 4年「表現運動」 授業者 藤瀬 拓海 教諭（小坂小学校）

本学級は、「体育は好きだが、表現運動は苦手」という児童が多い。そこで、導入時に軽快なリズムに乗って体を動かしたり、友達の動きを真似したりして表現する楽しさを味わう時間が設けられていた。また、動きを高めるためのキーワード（本時は「リズム」）を設定し、イメージカルタを使って児童の動きを引き出し、ペアで動きを考えたり、共有したりして学習を進めることができた。

イ 事前検討会

本年度は、コロナ禍により事前研究会の回数や人数を縮小し、時間も大幅に短縮して行った。また、新学習指導要領の完全実施を受けて、「熊本の学び」を参考に学習指導案の様式を検討し、単元終了時の児童の姿を明確にした学習構想案を作成した。

(2) 成果と課題

① 成果

- 児童の実態を把握し、運動が苦手な児童が動き出したいくなる手立てが考えられていた。
- 身に付けさせたい動きをキーワードで示し、仲間とかかわり合いながら動きを考えたり、作ったりして体を動かす楽しさを味わう学習が展開されていた。
- 学習構想案を作成したことで、単元終了時の児童の姿や本単元で働かせる見方・考え方を明確にして授業に臨むことができた。また、新型コロナウイルス感染対策を構想案に明記し、教師も児童も意識することができた。
- 新学習指導要領の全面実施に伴い新しく作成した体育の年間計画を改めて確認し見直すことができた。

② 課題

- コロナ禍の中で十分な指導案の事前検討会を行うことができなかった。
- 教師も子どもも授業のゴールの姿を共有しておく必要がある。
- 年間計画に位置付けられた表現運動のねらいをもう一度確認し、学習の積み重ねが必要である。

4 実践事例 4年「表現運動」 授業者 藤瀬 拓海 教諭 (小坂小学校)

(1) 授業の概要

【自評】

- 本時は、単元計画7時間取扱いの3時間目だった。本時の評価としていた「場面に合わせてイメージにあった動きをスピードを変えながら表現していた」児童は、半分ほどだった。ペアでイメージカルタを引いてテーマの動きをやってみる活動では、児童がうまく動きのイメージを持てていなかった。班で紹介し合う活動では、指示がうまくいかず動くのか、話し合うのか迷う場面があった。もっと言葉を精選すべきで教師の言葉かけは大切だと感じた。

【質疑応答等】

Q1：「よい動き」とは、どんな動きか。

A：ひと目見て何をやっているのが分かる動きと考えた。

意見：何をやっているか分からないのは「よい動き」ではないのだろうか。

意見：「よい動き」とは、動き・リズム・関わり・空間から崩し・変化して面白くなる。二つの班で組み合わせたらどうなるか・・・そういうところに面白さが出るのではないか。

Q2：単元のゴールの姿は？そのゴールに今日の授業はどうかかわってくるのか。

A：単元の最後に発表会を予定している。今日は、題材を班で選んで、動きながら考えてみた。動きを蓄積して材料を集め発表会につなげていきたい。

Q3：カードの動きはどうやって選んで作ったのか。

A：いろんな動きを引き出したいと思った。リズムを崩すと日常生活にない動きが出てくる。カードは、子どもたちの発想を大切にしたい。

Q4：イメージカルタの内容は、どのようにして決めたのか。

A：学習指導要領の中から、「空想の世界からの題材」を子どもたちが選んだ。

Q5：抽出児童についてクラスの様子はどうだったか。

A：「青7の児童の動きがよかった」と声が上がっていた。白14の児童は、テーマがあると動いていた。子どもたちの関わりとしては良かったと思う。

【グループ協議】

- 動きを引き出すための「イメージカルタ」の活用について
 - ・ 動きのリズムが変わるようなカードが少なかったため、教師の意図する動きを入れておくとよかった。子どもたちのアイデアを組み合わせるとリズムが出てくるのではないか。
 - ・ 忍者の物語を考えておいて、イメージカルタを使って動いてもよかったのではないか。
 - ・ 子どもの言葉で動きを引き出すには、日ごろの授業で経験させておくとよい。
 - ・ リズム崩しに重きを置けばよかったのではないか。「移動の時は忍者の動きで」なども決めておくと面白いのではないか。
 - ・ ひと流れの動きで20～30秒に合うイメージカルタにするとよかったのではないか。
- 「よい動き」の共有について
 - ・ オノマトペを使ったり、動画を活用したりすると動きの可視化ができる。「宇宙」や「忍者」、「ジャングル」のテーマを与えたうえで子どもたちに動きを考えさせてもよかったのではないか。
 - ・ 動きながらその都度気づきをカードに書き込んでおくと広がったと思う。
- その他
 - ・ 授業の流れをどうすればよいか。練り上げていくのであれば、良い動きを派生させるとよい。例えば、スローモーションの動きを別の動きに生かせないだろうか。
 - ・ 熊本の学びにおける「学習課題」をもう一度確認する必要がある。
 - ・ 表現する動きが、忍者に見えないといけないのか。見えなくてもいいのではないか。自分がその世界に没入して動けていればいいのか。周りの人に分かるかどうかではなく、自分のイメージで動くことが大事ではないか。

【助言・まとめ】

○ コロナ禍により授業の事前検討会も十分できない中で、自ら研究授業に挑戦していただきありがとうございました。先生の意欲や前向きな姿勢が、子どもたちに十分伝わっていた。子どもたちの聞く姿勢もよく、先生の時間配分も計画どおりだった。時間を軽んじて授業を作ってはいけない。学習カードを準備し、スイッチオンタイム等で運動量の確保はできていた。運動が苦手な子は、忍者になって「瞬間移動」を何回もやっていた。同じ班の子がそのことを褒めていたことが素晴らしい。

子どもたちが動きを考える材料はたくさんあったのではないかと。「何をしているのか分からなければだめなのか」という質問があったが、表現は、ジェスチャーゲームではない。変化・急変・緩急・強弱等の動きを学習したい。イメージカルタの内容の決め方には、教師の意図を入れないと意図した動きは生まれないのではないかと。単純な動きを一つ、一つ、それらを組み合わせていく。教師は、子どもたちのゴールの姿をはっきり持つ。子どもたちの意識の中にもその姿がないと作っていく上で迷ってしまう。

With コロナの中で、今回の授業研究会は新しいスタイルになるのではないかと。授業者は、思いっきりやりたいことができた。その熱意を受けて今日の研究会も活発に意見が出された。参加者の勉強になり、何よりも授業者の勉強になったと思う。今日の授業や研究会をもとに、参加された先生方が、今後自分の実践に生かしその成果や課題をまた授業者に動画等でお返しできれば幸いです。

(2) 学習構想案 (一部抜粋)

第4学年 体育科 学習構想案

1 単元構想

単元名	表現運動「いろいろな世界に行ってみよう」		
単元の目標	(1) 身近な生活などの題材からその主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで踊ることができるようにする。 (2) 自己やグループの能力に適した課題を見付け、題材の特徴を捉えた踊り方や交流の仕方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。 (3) 運動に進んで取り組み、誰とでも仲良く踊ったり、友達の動きや考えを認めたり、場の安全に気をつけたりすることができるようにする。		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① 身近な生活などの題材からその主な特徴を捉えようとしている。 ② 対比する動きを組み合わせたり、繰り返したりして踊ることができる。	① 表現の動きのポイントを知るとともに、自分に合った課題や題材を選んでいる。 ② 考えた動きを友達に伝えようとしている。	① 表現運動の楽しさや喜びに触れることができるよう、進んで取り組もうとしている。 ※②、③は省略
小坂小学校の目指す児童像	単元終了時の児童の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)		
体を動かす楽しさや健康の良さを知り、自分のめあて達成に向け粘り強く取り組んでいる。	題材から特徴や感じを自分なりに捉え、表したい感じを中心に、動きを誇張したり変化を付けたりして、メリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きを即興的に表現する姿		
単元を通した学習課題	本単元で働かせる見方・考え方		
「よい動き」をたくさん見つけて、班で作品を作ろう	表現の特性に応じた楽しさや喜びを味わい、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現を「する」、お互いの動きを「見る」、お互いの動きや考えのよさを認めて「支える」、イメージを強調する表現の動きを「知る」、といった自己の適性等に応じて運動やスポーツとの多様なかわりで楽しむこと。		

4 本時の学習

(1) 目標 動きを遅くしたり、速くしたりするなど、動くスピードを変えながら表現をすることができる。(知識及び技能)

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図・内容、方法等)	備考
導入	10分	<p>1 学習の見通しをもつ。</p> <p>(1) 学習の進め方を確認する。 ◇ 前時では、動きを大きくしたり小さくしたりするのがよい動きだということが分かりました。</p> <p>(2) めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">【学習課題】「良い動き」をたくさん見つけて、班で作品を作ろう</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">【めあて】よい動きのポイントを見つけて、やってみよう</div> <p>2 準備体操・スイッチオンタイムを行う。 ・ダイナミックじゃんけん ・だるまさんが○○になった！(チャンピオンの動きに合わせる)</p>	<p>○ 単元計画を掲示し、児童が本時の見通しをもつことができるようにする。</p> <p>○ 児童の学習カードの感想を元に、本時で解決したいことを取り上げる。</p> <p>○ スイッチオンタイムで、主運動につながる動きを行うことで、心と体をほぐして活動に入れるようにする。</p>	<p>単元計画表</p> <p>BGM 体育用太鼓</p>
展開	30分	<p>3 イメージカルタを使って、動きをやってみる。</p> <p>(1) ペアでイメージカルタを引いて、書かれたお題の動きをやってみる。</p> <p>(2) 児童が見つけた「良い動き」について共有し、全員で行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">【本時のキーワード】リズム (速くなる・遅くなる・止まってみる・スローモーションで)</div> <p>(3) ペアでイメージカルタを引いて、確かめた動きを活かして、お題の動きをやってみる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;">【期待される学びの姿】お題に応じた動きを本時のキーワードで学習したことを取り入れて動こうとしている姿</div> <p>(4) 考えた動きを、班で紹介し合う。</p>	<p>○ ペアで交互に行うことで、様々な動きを経験できるようにする。</p> <p>○ 良い動きをしている児童や良いかわりをしている児童を見つけ積極的にほめるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><評価基準>(知識及び技能)</p> <p>B：場面に合わせて、イメージに合った動きのスピードを変えながら表現することができる。 (観察・学習カード)</p> </div> <p><B基準に達しない児童への手立て></p> <p>○ 良い動きのポイントを提示する際に、児童との対話を通して今日練習することを明確にするとともに、上達した部分を声掛けし認める。</p> <p>○ 動きを発表する際、お互いの良いところを見つけさせる。</p>	<p>イメージカルタ</p> <p>発見ボード</p> <p>体育用太鼓</p>
終末	5分	<p>4 学習のまとめを行う。</p> <p>(1) 振り返りを行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">【まとめ】リズムは、速くしたり、遅くしたり、止まったりすると動きがよくなる。</div> <p>(2) よいところ紹介を行う。 ・今日のきらりさんを発表しましょう。</p>	<p>○ 本時で学習したことやできるようになったことを、児童の感想からまとめるようにする。</p> <p>○ よいところ紹介でがんばっていた児童を称賛し、次時への意欲付けを行う。</p>	<p>学習カード</p>

